

—あなたの一步を応援します—

ながさきに新たな風を吹かせる挑戦びと、  
“トライ人”を紹介するコーナー。  
若者からベテラン、  
輝くみなさんの挑戦ストーリーとは!?

# 発見! トライ人

『長崎の子どもたちに夢を与える』挑戦

ジャズピアニスト・作曲家・プロデューサー

平戸 祐介さん

## トライ年表

1978年 ・4歳でピアノを始める	1993年 ・ニューヨークの大学に入学
1987年 ・中学生でコンサート主催	1999年 ・帰国
1990年 ・高校生で海外のイベントの最優秀賞を受賞	2023年12月 ・NAGASAKI CITY JAZZ 初開催



## あなたの気になるトライ人募集!

市内で新たな一步を踏み出す人、または挑戦を支える「トライ人」を募集しています。自薦・他薦は問いません。市ホームページか  
はがきでご応募ください。



## ジャズで長崎を盛り上げていきたい

世界で活躍する本市出身の平戸祐介さん。父親がジャズ喫茶を経営、母親はピアノ教室をしていて、身近に音楽がある環境で育ちました。

平戸さんは4歳でピアノを始め、中学生の時には自身が企画したコンサートで地域の方々に演奏を披露していました。高校生の時はニューヨーク・マンハッタン音楽院のイベントで最優秀賞を獲得。両親の後押しがあり、ニューヨーク・ユニースクール大学のジャズ科に入学しました。ここで世界のレベルを知ったと言います。在学中も数々の賞を受賞。平成11年に帰国し、国内外のアーティストと共演したり、アルバムを出したりと活躍しています。

平戸さんは1番集中できる朝に作曲をしています。良いアイデアは入浴中に浮かぶことが多いそう。休みの日は読書をしたり、いろんなジャンルの音楽を聴いたりして過ごしていると言います。また、高校生の息子にSNSの投稿のコツを教わるなど、おちゃめな一面もあります。

近年は長崎に恩返しをしていきたいという思いで、FM長崎でレギュラー番組を持つたり、長崎新聞にコラムを連載したりしています。令和5年には音楽イベント「NAGASAKI CITY JAZZ」を開催し、大盛況でした。昨年はアミュープラザ長崎かもめ広場をメイン会場として計6カ所で開催し、さらに盛り上がりました。「開催にはたくさんの方の壁があったが、ありがたい言葉で疲れが吹き飛んだ。市民に愛されるイベントにしていきたい」と語っていました。

今後も、長崎の子どもたちにプロの演奏を聞く機会を提供して、視野を広げるきっかけをつくらせていきたいそう。ぜひジャズを聞いてみてください。

## 失敗を恐れない気持ち

平戸さんはこれまでたくさん失敗を経験し、今があると言います。昨年の「NAGASAKI CITY JAZZ」には学生も出演。「披露する機会があると格段に上達する。失敗も経験しながら成長してほしいので、今後も機会を作っていきたい」と語ります。



「挑戦」に  
不可欠な  
ものは?